

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名	学校給食センター維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上山幸顕・安武祐次
	施策	20	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名	工藤哲生・花田秀樹・前田美和
	基本事業	63	食育の推進		所属班	学校給食班	(内線)	096-248-2102
予算科目	会計一般	款10	項6	目3	事業連番10683	法令根拠	学校給食法	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
						成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	給食センターの維持管理として、使用する消耗品購入や光熱水費の支払い、各種保守等を適切に行い、旧合志3小学校・1中学校の約2,775人児童生徒に193回の給食を提供した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	調理上必要な備品や消耗品を購入するなど給食の提供がスムーズに出来るように配慮した。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費) 役務費(汚泥汲み取り手数料) 委託料(消防・電気・機械警備等) 備品購入費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
安全で衛生的な給食が提供できるように、施設設備や厨房機器等の維持管理を行った。	安心安全で衛生的な給食が提供できるように、施設設備や厨房機器等の維持管理を確実に行う。アレルギー対応の強化、食器類の一部更新。学校給食施設6施設の害虫駆除。 10683『学校給食センター維持管理事業』を『学校給食運営事業』と名称変更し、10684『小中学校給食提供運営事業(共通)』と10685『単独調理校給食室維持管理事業(単独共通)』を統合する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:機械修繕件数	件 3件の事務事業を統合したことによる予算増額。正規調理員の退職及び児童生徒増加による食数増加対応の非常勤調理員の増員、並びに児童生徒増加による電気及び上下水道料等の増額。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
児童生徒	(単位) 人
	→ア:児童生徒数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安全で衛生的な給食を食べることが出来る	(単位) 件
	→ア:調理に支障をきたした件数
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
バランスのとれた食事がとれている	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	件	8	4	10	4	10	10	10	10	
	イ										
②対象指標	ア	人	2,290	2,434	2,570	2,571	2,670	2,870	2,970	3,070	
	イ										
③成果指標	ア	件	2	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	62	1,693		2,214	2,115			
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	22,290	27,517	29,098	25,869	88,799	93,000	93,000	93,000
		(A)事業費計	千円	22,352	29,210	29,098	28,083	90,914	93,000	93,000	93,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	9	2	2	2	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	4,595	900	900	1,000	900	900	900	900		
(B)人件費計	千円	0	3,585	3,585	3,984	3,585	3,585	3,585	3,585		
トータルコスト(A)+(B)	千円	22,352	32,795	32,683	32,067	94,499	96,585	96,585	96,585		

事務事業名	学校給食センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 安全安心な給食を提供するために、着実に維持管理を行った。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状を維持する
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 給食センター維持管理上必要である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 給食センター維持管理上必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 給食センター維持管理費は市負担である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 給食センターの調理・配送業務を民間委託にする。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

安心安全な給食の提供がスムーズにできるように、施設設備や厨房機器の維持管理を確実に行った。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						